

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年三月度 入選句（投稿総数千三百七十句・小中学投句数九百七十一句）

特選

登校 中朝日に透ける白い息 加茂郡川辺町山崎 美琥(中三)

寒い朝、学校に向かっている時の様子ですね。寒い朝、吐いた息が白くなることは、誰もが経験したことがあるでしょう。その「吐いた息」が「朝日に透ける」という言い表し方がすばらしいです。凍てつくような朝ではあっても、登校中の作者に朝日がふりそそいでいる。そんな情景の中でがんばって中学校に向かっている作者の爽やかさが伝わってきます。

制服が少し浮いてる入学式 加茂郡川辺町榊間 七菜子(高二)

作者は中学三年生。もうすぐ中学校の卒業式が待っているわけですね。そんな中で、自分が中学校に入学した頃の制服姿を思い出しているのでしょうか。それとも新しく入学してくる子の制服姿を想像しているのでしょうか。出江にしても「制服が少し浮いてる」という表現にユーモアと、初めて少し大きめの制服を着る入学生への温かい眼差しが感じられます。

さくら道明日に向って歩きだす 大垣市 遠藤 惺南(中一)

この句の作者は「小学六年生」作者も小学校を卒業して、中学校への進学になるわけですね。その中学への進学を前に多少の不安や心配もあるかもしれない中で、「明日に向かって歩き出す」と言い切れること、素晴らしいことです。この気持ちを忘れずに楽しい中学生生活を送られることを願っています。

秀逸

出陣だ敵のじんちへ雪合戦 大垣市 草野 隼人(小六)

自転車で桜吹雪をかけぬける 加茂郡川辺町 朝 日 漣(中三)

それぞれが違う春の道歩きだす 加茂郡川辺町 中村 怜美那(高二)

かざぐるまかぜがふいたらおどりだす 大垣市 平子 瑛士(小四)

友だちとゆきといっしょにだんすする 大垣市 千葉 ツヨシ(小五)

手ぶくろをはめてぼかぼかグーチョコキパー 大垣市 廣瀬 美貴子(小五)

おもちをねきなこの服に着がえさせ 大垣市 高橋 凧咲(小五)

しゃぼん玉一つ一つが旅に出る 大垣市 早野 莉央(小四)

かえるの子はっぱの上でうたって 大垣市 吉原 優愛(小三)

たんぼぼがいつてらっしやいわらってる 大垣市 伊藤 晟 呀(小二)

入選

春の雲いぶきの山にかさかぶせ 大垣市 水谷 優那(中二)
 桜散る思い出の数だけ花びらが 加茂郡川辺町 村田 羽耶乃(中三)
 受験生春風優しく背中押す 加茂郡川辺町 鈴木 理央(中三)
 桜咲き笑顔も咲いた新学期 加茂郡川辺町 木下 彩音(中三)
 思い出のあの曲で去る卒業式 加茂郡川辺町 木下 仁唯南(中三)
 凧あげて自分も飛びたいあの空に 加茂郡川辺町 村田 真捺(高二)
 春一番心の雲も飛んでいけ 加茂郡川辺町 加藤 小乃羽(高二)
 うちのねコストープのまえひとりじめ 大垣市 松井 雄々介(小三)
 ふゆのやましろいどれすでおしゃれだな 大垣市 うめ田 すあ(小三)
 うれしいなともだちできたゆきだるま 大垣市 上田 実紗希(小四)

入選

散るさくらかぜといっしょにおどってる 大垣市 三輪 有希(小四)
 ひなまつりみんながわらう人形も 大垣市 近澤 茉奈(小四)
 たんぽぽがふわふわふるとおでかけだ 大垣市 岸良 萌々果(小四)
 春セーターははのぬくもりつまってる 大垣市 篠田 明璃(小四)
 せつ分のおめん取ったらお父さん 大垣市 富山 十愛(小四)
 外遊び春の風がせなかおす 大垣市 藤田 芽衣(小四)
 たんぽぽはたび立つようにとんでゆく 大垣市 川田 真央翔(小四)
 たこあげたくもとどくか競争だ 大垣市 水谷 優日(小五)
 桜散るそのたび思い出あふれ出す 大垣市 平井 隆吉郎(中二)
 春の田を風がそつとなでていく 大垣市 出口 たくま(小三)

選者吟

水流る音のやさしく山笑う

祐子